

## 令和4年度「学校評価（児童・保護者）」の分析結果について

日頃は、立江小学校教育に対しまして、ご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

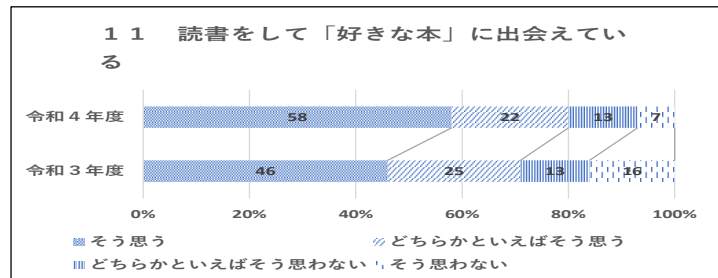
さて、先般ご協力いただきました「学校評価（児童・保護者）」から、成果と課題を抽出した分析結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

今後は、本結果を踏まえた上で、よりよい教育活動の実現に向けて、教職員が一丸となってなお一層努力してまいります。保護者のみなさまにおかれましても、今後も本校教育に対しまして、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

### <児童アンケート>

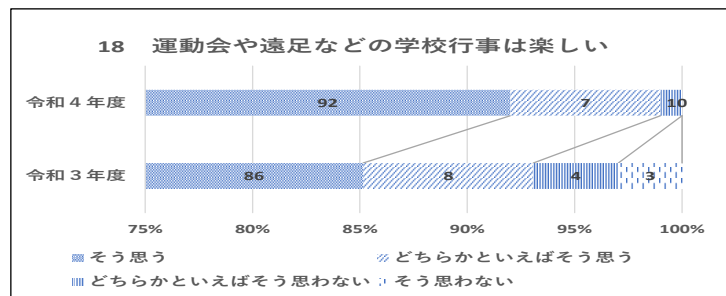
#### 1 1 読書をして「好きな本」に出会えている。

肯定的な回答（「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」の合計）をした児童が昨年より10%増えました。今年度もシリーズものを中心に、児童が興味をもつような新しい本が入り、毎週水曜日の朝活における読書タイムや多読賞の表彰など、読書活動の促進を図っています。読書は、確かな学力や豊かな心の育成に欠かせないものです。これからもより多くの本に出会えるよう、継続して指導に努めてまいります。



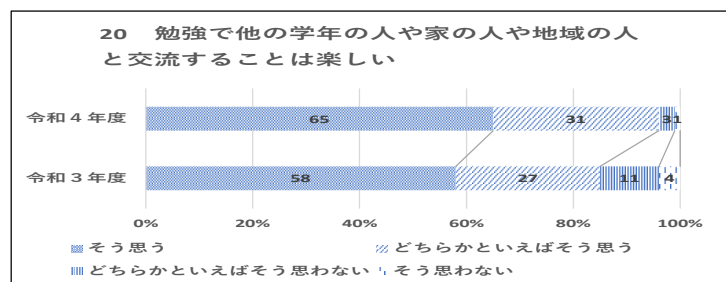
#### 1 8 運動会や遠足などの学校行事は楽しい。

肯定的な回答をした児童の割合が増えました。今年度は、計画した全ての行事を実施し、たくさんの保護者の方々に参加していただいたり、児童の活動をご支援いただいたりしました。本当にありがとうございました。次年度も、児童が「楽しい」と思えるような内容に工夫を加えていきたいと考えています。



#### 2 0 勉強で他の学年の人や家の人や地域の人と交流することは楽しい。

今年度は、昨年度と比べて校外活動や地域の方から学ぶ機会が増えたことが肯定的回答の増加につながったと考えられます。児童の健やかな成長のためにも、保護者・地域

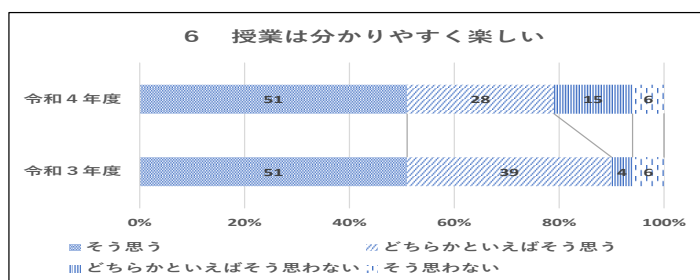


・学校の連携の場が重要であることは変わりございません。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。また、校内での縦割り班活動も回数・内容ともに改善を加えます。

## 6 授業は分かりやすく楽しい。

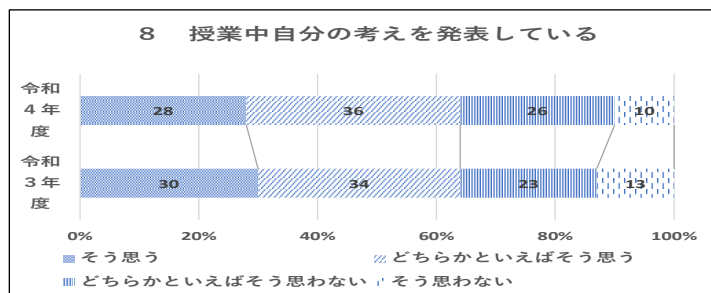
い。

昨年度と比較して、「そう思う」の割合は同じですが、全体として肯定的回答が減少しています。児童一人一人にとって分かりやすい授業にするために、指示・発問、タブレットをはじめとするICTの活用等、授業改善に努めながら、個に応じたきめ細やかな指導を充実していきます。



## 8 授業中、自分の考えを発表している。

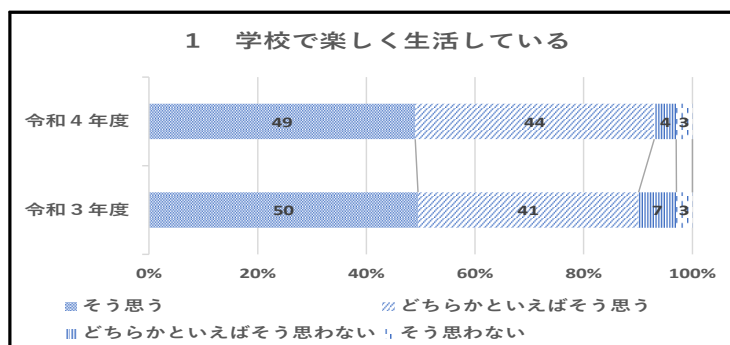
肯定的に回答した児童の割合が全項目の中で1番低い割合となり、今後の重要課題として浮かび上がりました。今後は、授業はもとより、集会や行事の場など多様な発表の機会を増やすとともに、「自分の考えを聞いてくれる」「話しやすい」雰囲気の醸成を徹底していきます。



## <保護者アンケート>

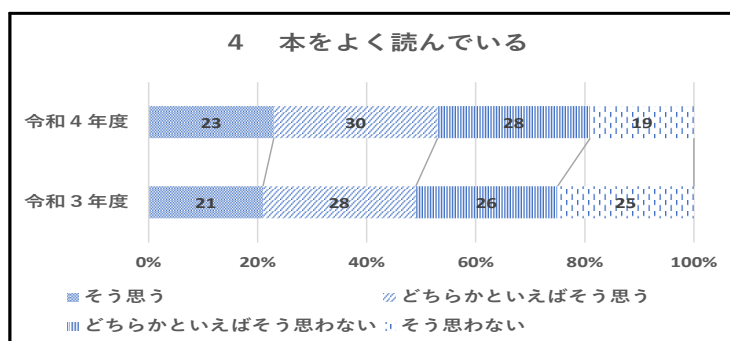
### 1 学校で楽しく生活している。

93%の肯定的回答をいただきましたが、7%の否定的回答があるのも事実です。学校は、全ての児童にとって「楽しい」場所である必要があります。今後も、あたたかい集団づくりや一人一人の存在や思いが大切にされる安心・安全な学校づくりを進めていきます。



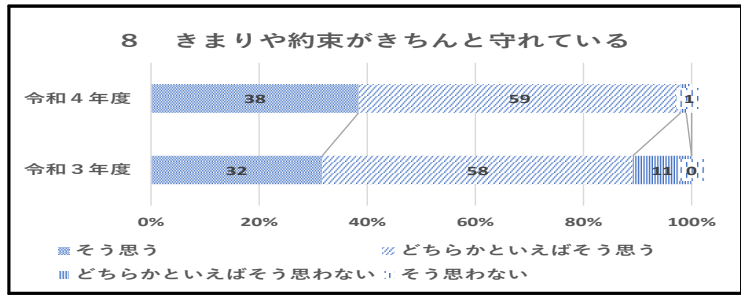
### 4 本をよく読んでいます。

児童アンケートでは、「好きな本に出会えている」質問に肯定的な回答が多くなっていますが、「本をよく読んでいます」では、昨年度よりポイントを増やしたものの、全質問の中で1番肯定的回答が低い結果となっています。1月に実施した「生活リズムチェックカード」の結果からも、本を読む習慣が不十分な児童が全体の55%を占め、読んでいる・いないの差があることも分かっています。これらの結果を踏まえ、図書室をはじめとする読書環境の充実や児童にとって読みたい本やおすすめしたい本など、購入時に工夫したいと考えています。また、週末には学校から本を借りて持って帰るようにしていますので、学年だよりや懇談などを通して学校と家庭との情報連携も必要ではないかと考えます。



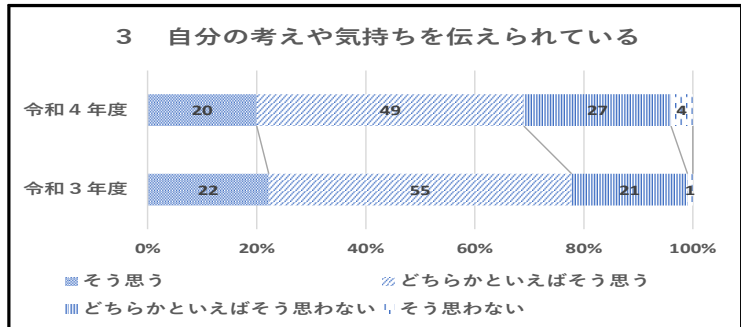
8 きまりや約束がきちんと守られている。

97%の保護者の方から、肯定的な回答をいただきました。今後も、道徳教育の充実をはじめ、児童集会や学級での指導、長期休業日前の生活指導等、生活のきまりが守れるように指導の充実を図ります。また、何よりも家庭と学校相互の連携が大切です。引き続き、ご協力の程よろしく申し上げます。



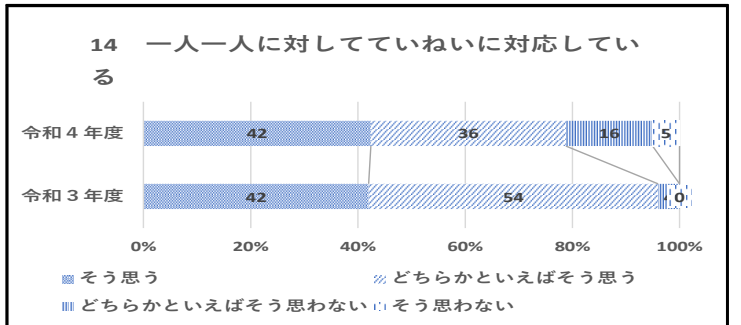
3 自分の考えや気持ちを伝えられている。

児童アンケートの「授業中、自分の考えを発表している」の結果と同じように、肯定的回答の割合が低いようです。気持ちを伝える相手としては、家族や教師、友達が推測されます。相手とのコミュニケーション力を高めたり、ストレスの解消や問題の解決につながることもあります。教師も含めて、何でも話しやすい・相談しやすい環境づくりに努めていきます。



14 一人一人に対してていねいに対応している。

80%近くの肯定的回答をいただきましたが、昨年度と比較して割合を下げています。個に応じたきめ細やかな学習指導やしっかりと向き合っ児童の思いや願いに対応することは、一人一人を大切にしていけることにつながっています。全ての教職員で共通理解を図り、引き続き一人一人の存在や思いが大切にされる学校づくりを進めていきます。



<さいごに>

このたびお寄せいただいたご回答とともに、たくさんの感謝の言葉とご要望もいただきました。本当にありがとうございました。いただいた貴重なご意見や今回取り上げていない項目についても、工夫・改善を加え次年度の学校運営に生かしていきたいと考えています。

また、次年度の学校評価は、お子様の様子についてお答えしやすい内容に、そして紙によるアンケートではなく、Web形式によるアンケートにそれぞれ改める予定です。

これからも、本校の児童の健やかな成長のために家庭と学校が密に連携しながら取り組んでいく所存ですので、引き続きご理解とご協力の程よろしく願いいたします。